

会議録（公表用）

件 名	令和8年度第2回文化財保存活用地域計画作成協議会	作 成 課	教育委員会 管理部文化財課
日 時	令和8年8月21日（金） 14時30分～16時15分		
場 所	中央公民館3階中会議室		
出 席 者	文化財保存活用地域計画作成協議会委員11人（欠席3人） 事務局4人		
会 次 第	○協議事項（1）文化財保存活用地域計画づくりを通して見えてきたこと —計画をつくるから、計画を動かすへ—		
主な内容等	（○委員 ●事務局） 令和5年度から、計10回目となる今回の会議では、計画策定後を見据えて、委員と職員混成のグループによる意見交換を実施しました。 グループワーク①地域計画作成による10年後の鹿児島市を想像する 【A グループ】 ・教材で使われている ・対話の材料になると良い ・文化財としては減るかもしれないけど、アーカイブ化されて何かしらの形で残ることが大事 ・文化的行事が開催されている状態 ・表に出す機会を作る ・保全、保存の活動そのものが付加価値になると良い 【B グループ】 ・教育の視点、いかに子どもたちに伝えるか ・学校教育、社会教育にいかに位置付けるか ・アクションを起こして、種をまき続けること、いかに継続するかが大事 ・発信力、なぜそういう発信をするのか、面白くない地域は無い、前提をみんなで共有するために、情報発信が大事 ・キッチンカーが出店するような祭りは減っていないと思う一方で、伝統芸能など手間がかかるものは減ってきている。祭が消費者的になってきていて、能動的に関わることが減ってきている。自治意識ともつながる。 【C グループ】 ・文化財を通して人がつながる仕組みと、計画ができたことを伝える活動をしていきたい。 ・子ども向け副読本を作って欲しい ・今がスタートで、10年後に皆が分かっている状況 ・5年後に計画を見直す際は、専門職が中心になってほしい ・文化財課の予算3倍、職員2倍		

グループワーク②自分の立場だからこそできること

【A グループ】

- ・文化財に少額でも良いのでお金をおとす
- ・地域資源を認識して、生かした活動を行う
- ・文化財に詳しい人と親しくなる
- ・見る、聞く、行く、をしっかりとる
- ・専門的な話ではなく、しっかり意味を伝える必要がある
- ・マッピングしていく、後々効いてくる
- ・文化財ガチャを作る

【B グループ】

- ・健康維持
- ・PR 伝えるではなく、伝わることが大事
史跡の見える化をし続けることで、皆の史跡になっていく
- ・皆で作っていく場、が今後ますます大事

【C グループ】

- ・伝える活動として、学校に出向いて情報映像や音声を皆に見てもらう機会を作る
- ・見た人が懐かしんで元気になってもらうことがポイント
- ・祭りはコミュニティができて、地域がつながることで、文化財を守ることにつながる
- ・文化財を知っている人を増やすために伝える